

エコユニットフロー
施工説明書
取扱説明書

株式会社 キタイコーポレーション

目次

■パネル / スタンダードタイプ (H40SP/ H50SP/ F50S/ H70S/ H95SP)	
仕様・性能・補助脚	P 3
■パネル / 溝配線タイプ (PIT40S/ PIT50SII)	
仕様・性能	P 4
荷姿 (スタンダードタイプ・溝配線タイプ)	P 5
■ボーダー材 (エコユニットフローアー ボーダー H50)	
仕様	P 6
■施工に関して	
施工に必要な工具	P 6
施工手順 (スタンダードタイプ)	P 7 / P 8
施工手順 (溝配線タイプ)	P 9 / P 10
施工手順 (エコユニットフローアー ボーダー H50)	P 11 / P 12
■取付図	
アルミスロープ / 出隅・入隅	P 13
アルミカマチ	P 14
パーツ (アルミスロープ・アルミカマチ)	P 14
補助脚	P 15
■電設機器の設置	
対応電設機器一覧	P 16
各電設機器の詳細図	P 16 / P 17
■注意事項	P 18

パネル (スタンダードタイプ)

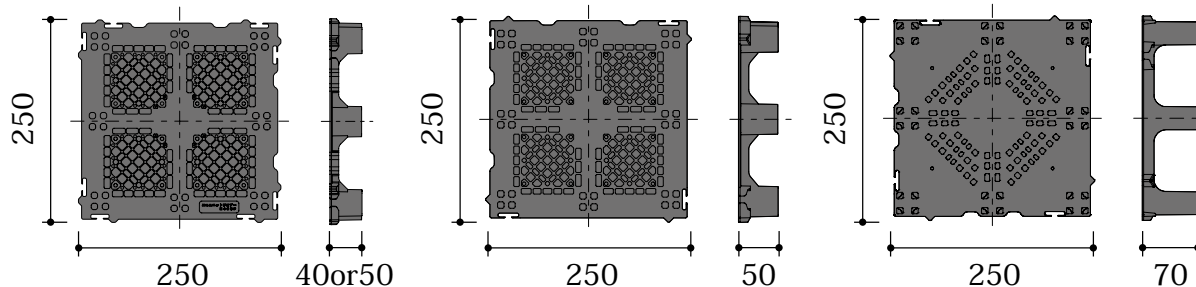
仕様

型式	外観寸法 (mm)	配線空間 (mm)	製品重量 (kg/m ²)	材質
H40SP	250 × 250 × 40	A=29 B=66	約 7.0	リサイクル PP 樹脂
H50SP	250 × 250 × 50	A=39 B=66	約 7.5	
F50S	250 × 250 × 50	A=37 B=66	約 9.0	
H70S	250 × 250 × 70	A=55 B=79	約 8.5	
H95SP	250 × 250 × 95	A=80 B=74	約 9.4	

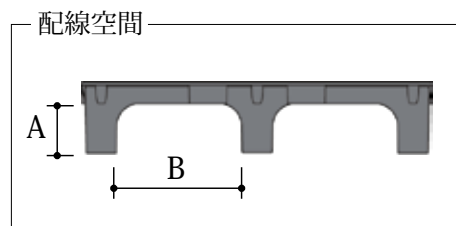
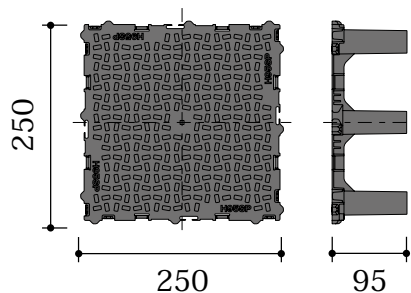
H40SP/H50SP

F50S

H70S



H95SP



性能

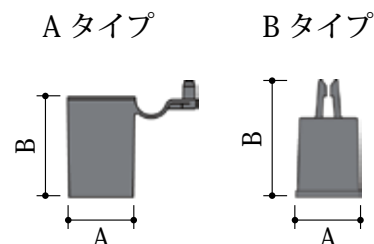
※ JIS A 1450 に準拠

型式	荷重性能	衝撃性能	ローリングロード性能	耐震性能
H40SP	3000N 荷重時の 変形量 ≤ 5.0mm 残留変形量 ≤ 3.0mm	残留変形量 ≤ 3.0mm 外観損傷の異常無し	荷重値700N 残留変形量 ≤ 3.0mm 外観損傷の異常なし	錘 200kg × 1.0G パネルの異常無し 錘 350kg × 0.6G パネルの異常無し
H50SP				
H70S				
H95SP				
F50S	5000N 荷重時の 変形量 ≤ 5.0mm 残留変形量 ≤ 3.0mm			

※各試験結果は、実測値であり保証値ではありません。

補助脚 (スタンダードタイプ専用)

型式	外観寸法 A × B (mm)	タイプ	材質
H40SP	A=φ 24.0 B=28.5	A タイプ	リサイクル PP 樹脂
H50SP	A=φ 23.7 B=38.5		
F50S	A=φ 23.7 B=37		
H70S	A=φ 20.9 B=67.7	B タイプ	
H95SP	A=φ 22.2 B=92.7		

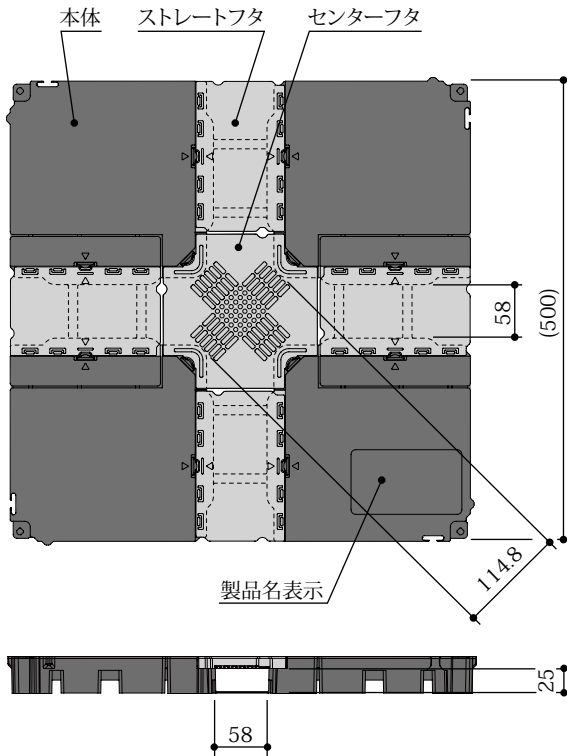


パネル (溝配線タイプ)

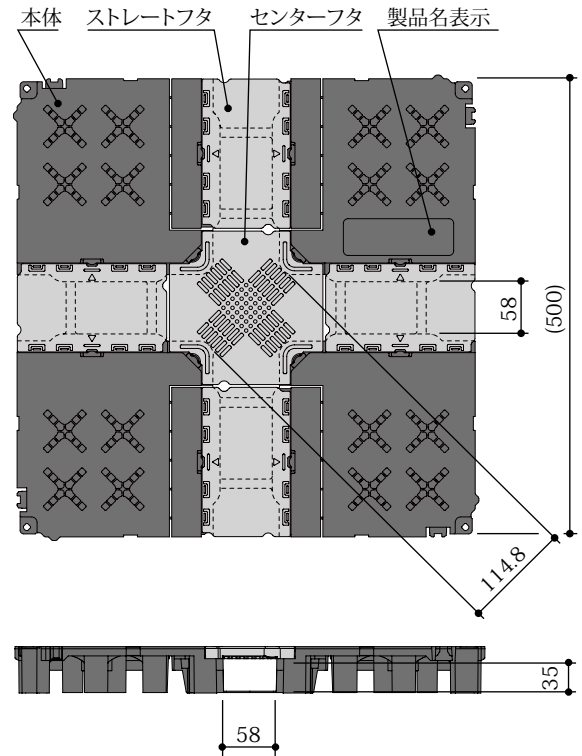
仕様

型式	外観寸法 (mm)	配線空間 (mm)	製品重量 (kg/m ²)	材質
PIT40S	500 × 500 × 40	58 × 25	約 9.3	ストレートフタ：リサイクル PP 樹脂 センターフタ：PET 樹脂 本体：リサイクル PP 樹脂
PIT50SII	500 × 500 × 50	58 × 35	約 9.0	

PIT40S



PIT50SII



性能

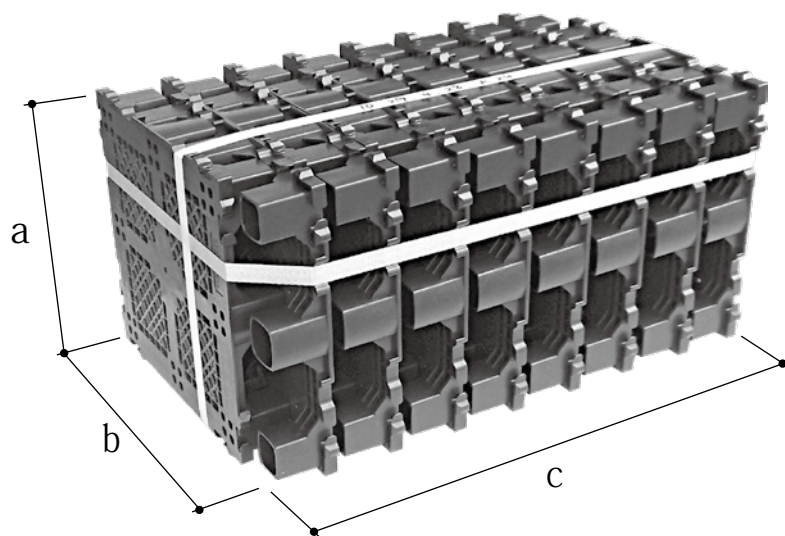
※ JIS A 1450 に準拠

型式	荷重性能	衝撃性能	ローリングロード性能	耐震性能
PIT40S	[フタ・本体] 5000N 荷重時の 変形量 ≤ 5.0mm 残留変形量 ≤ 3.0mm	残留変形量 ≤ 3.0mm 外観損傷の異常無し	荷重値 1000N 残留変形量 ≤ 3.0mm 外観損傷の異常なし	錘 350kg × 1.0G パネルの異常無し
PIT50SII				

※各試験結果は、実測値であり保証値ではありません。

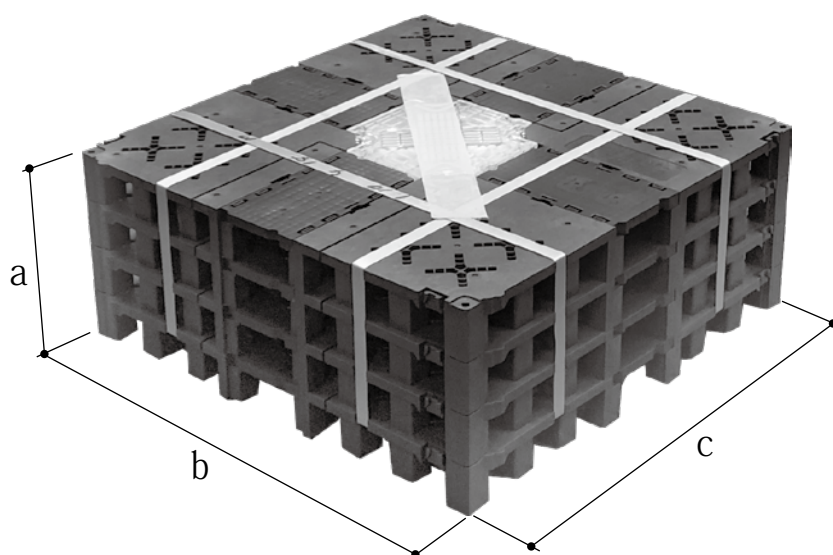
荷姿

<スタンダードタイプ>



型式	外観寸法 (mm)
H40SP	a=250 b=295 c=410
H50SP	a=250 b=295 c=490
F50S	a=250 b=295 c=505
H70S	a=250 b=295 c=680
H95SP	a=250 b=295 c=880

<溝配線タイプ>



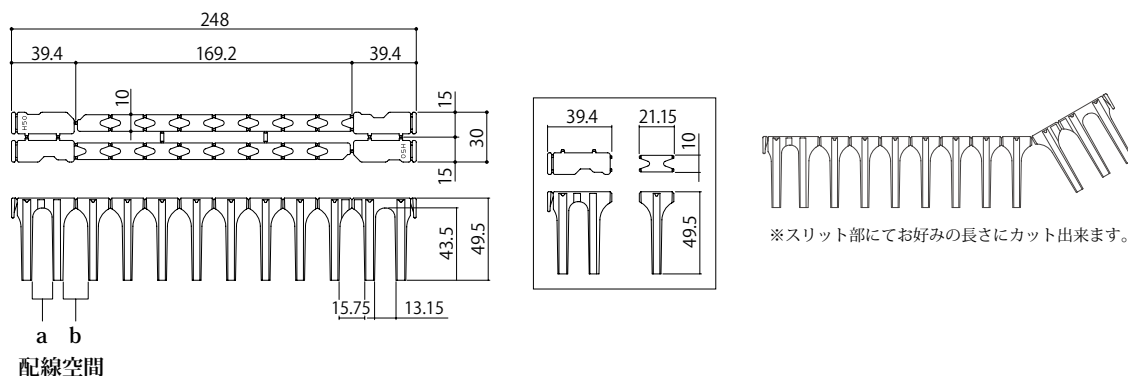
型式	外観寸法 (mm)
PIT40S	a=160 b=500 c=500
PIT50SII	a=200 b=500 c=500

ボーダー材

仕様

型式	外観寸法 (mm)	配線空間 (mm)	製品重量 (kg/m ²)	材質
エコユニットフローア ーボーダー H50	30 × 248 × 49.5	a 43.5 × 13.15 b 43.5 × 15.75	約 8.5	リサイクル PP 樹脂

エコユニットフローアボーダー H50



施工に関して

■施工に必要な工具

施工に必要な工具は下記の通りです (スタンダードタイプ・溝配線タイプ共通)

1) 清掃具

- ・ホウキ、掃除機など

2) フローア施工用

- ・墨壺、巻き尺、チョーク等 (墨だし用)
- ・帯鋸・電動丸鋸などのフローパネル切断機 (壁際またはボーダー部)
- ・インパクトドライバー (スロープ・カマチなどの固定用)
- ・振動ドリル (スロープ、カマチなどの固定用)

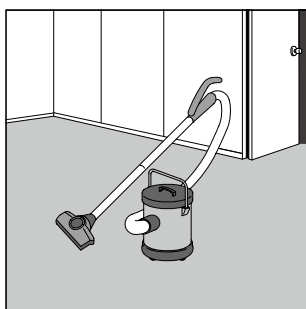
3) タイルカーペット施工用工具

- ・カッター (タイルカーペット切断用)
- ・粘着剤塗布用ローラー

4) その他

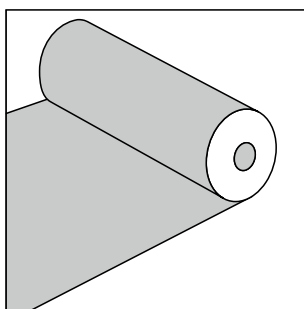
- ・ドライバー、ニッパーなどの一般工具

■施工手順（スタンダードタイプ）



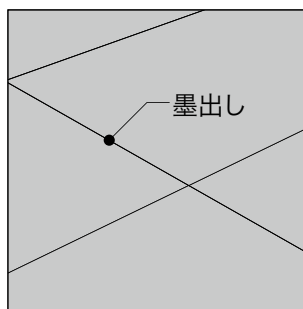
①床の清掃

床スラブは金ごてで仕上げを基本とし、ビニルタイル仕上げの床は突起物を除去して下さい。



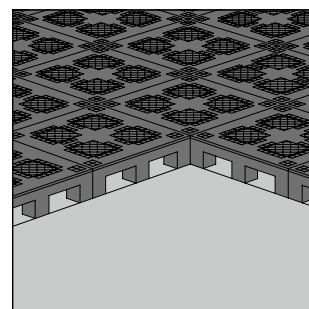
②ベースシート敷設

清掃後、ベースシートを敷き込みます。



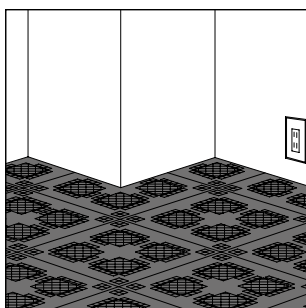
③割付・墨出し

ベースシート敷設後、ベースシート上に割付図面に従い敷き込み基準線を2mピッチで墨出します。



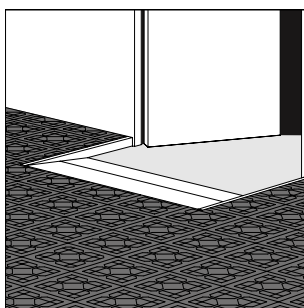
④敷設

割付図面もしくは打ち合わせに基づき、基準の壁面より敷き込みます。(パネル敷設時の注意事項は P8 参照)



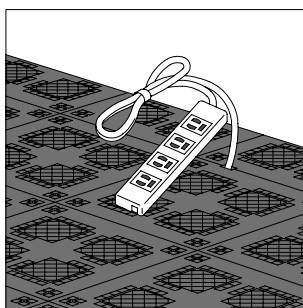
④敷設 (壁際)

必要に応じて電動工具でカットしてパネルの脚部がなくなった場合は補助脚で補強後、敷き込みます。補助脚はカットしたパネルに2～3ヶが目安です。重量物の設置場所にも使用して下さい。(補助脚の詳細は P15 参照)
また、カットにて納められない位の壁との隙間については、緩衝材等にて埋めることとします。



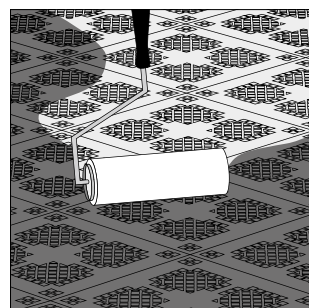
⑤カマチ・スロープの設置

入り口・扉に、必要に応じてスロープ・カマチを設置します。(取付の詳細は P13～P14 参照)



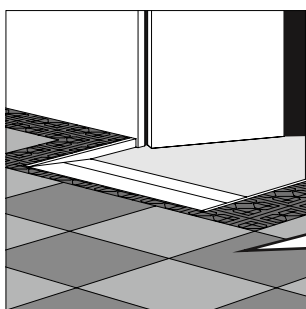
⑥敷設・配線処理

必要に応じて、配線は配線孔から上部に出して下さい。(配線孔の詳細は P8 参照)



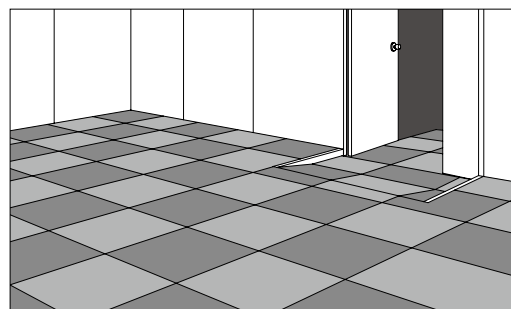
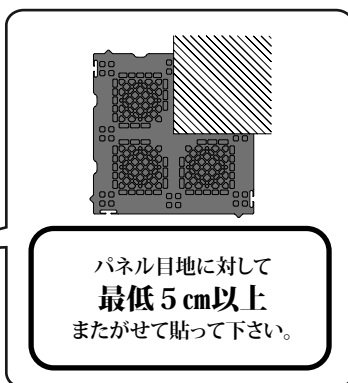
⑦接着剤の塗布

敷き込んだパネルにカーペット用の墨出しを行い、接着剤(タイルカーペット用ピールアップボンド)を塗布していきます。



⑧敷設 (カーペット)

パネルに対してカーペットは、またがせ貼りをします。
注)置き敷ビニルタイル仕上げについては別途お問い合わせ下さい。



⑨完成

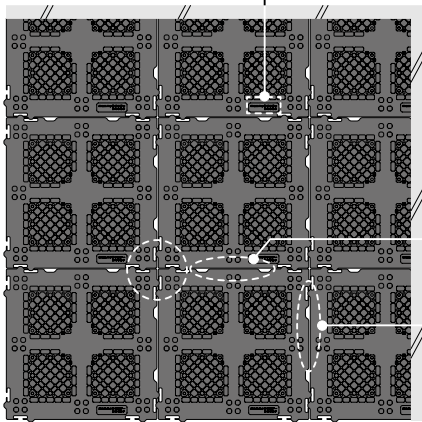
作業完了時には“ガタツキ”“目地合わせ”“段差”“汚れ”等が無いか確認して下さい。

次ページに続く

注意

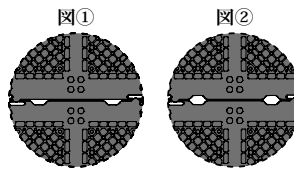
□ H40SP / H50SP / F50S / H70S について

製品名を目安にパネル表面の向きを一定方向に揃えて施工して下さい。

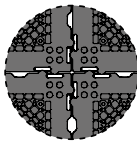


壁際で 250mm以下となる箇所は左図のように、使用しているエコユニットフローをボーダー材として使用して下さい。カット加工を施したものについては必ず専用補助脚で補強して下さい。
※重量物を設置予定の場合は、事前にご相談下さい。

※一定方向に施工した場合、配線孔は図①のような形状になります。配線量が不足する場合は、パネルを一度持ち上げてから回転させ、配線孔を図②のようにして下さい。



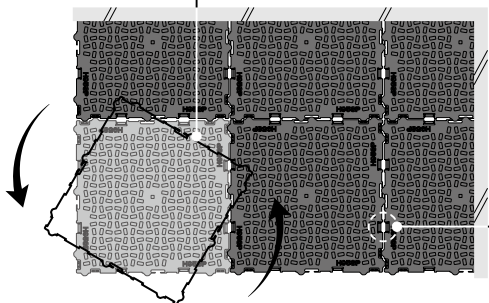
熱膨張対策



パネルの寸法変化 (季節の温度変化で発生する) によるパネルのせり上がり対策です。パネルの寸法変化に対応する為にバネ状の構造体を設けています。

□ H95SP について

パネル表面の向きを気にせず施工して下さい。

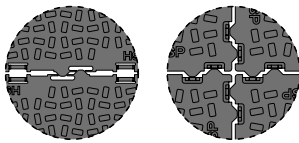


壁際で 250mm以下となる箇所は左図のように、使用しているエコユニットフローをボーダー材として使用して下さい。カット加工を施したものについては必ず専用補助脚で補強して下さい。
※重量物を設置予定の場合は、事前にご相談下さい。

<配線孔について>

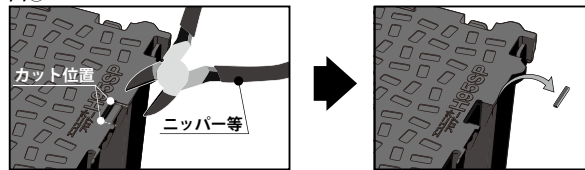
配線量を増やしたい場合は、配線孔のリブを図③の様にニッパー等の工具で切り取って、配線孔を拡張して下さい。

熱膨張対策

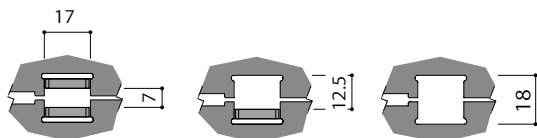


パネルの寸法変化 (季節の温度変化で発生する) によるパネルのせり上がり対策です。パネルの寸法変化に対応する為にバネ状の構造体を設けています。

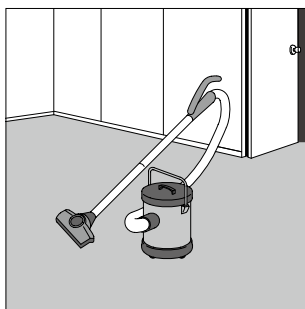
図③



配線孔の目安

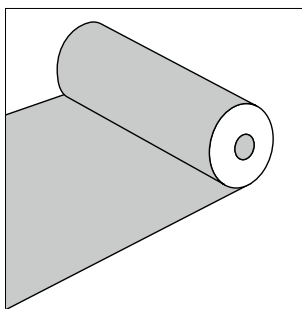


■施工手順（溝配線タイプ）



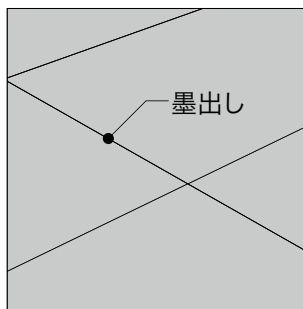
①床の清掃

床スラブは金ごて仕上げを基本とし、ビニルタイル仕上げの床は突起物を除去して下さい。



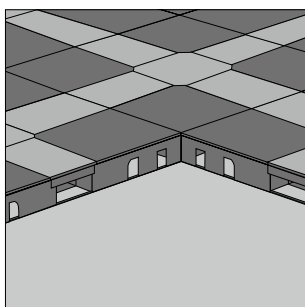
②ベースシート敷設

清掃後、ベースシートを敷き込みます。



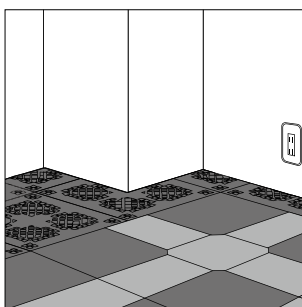
③割付・墨出し

ベースシート敷設後、ベースシート上に割付図面に従い敷き込み基準線を2mピッチで墨出します。



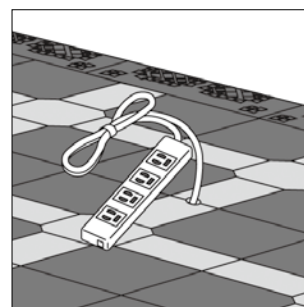
④敷設

割付図面もしくは打合せに基づき基準の壁面より敷き込みます。
 ※パネル同士を強く押し付けるような施工をしないで下さい。
 本製品は素材にプラスチックを使用しているため、季節の温度変化による外観寸法の変化が原因でパネル面のせり上がりが発生する可能性があります。
 ※重力物を設置予定の場合は、事前にご相談下さい。
 ※エコユニットフローアー PIT40S・PIT50SIIにカット加工を施す場合はご相談下さい。（部分的に不可の場合があります。）



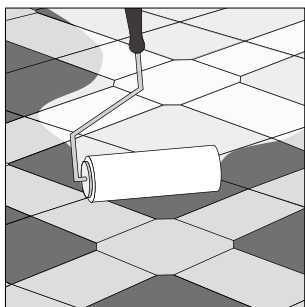
⑤カマチ・スロープの設置

入り口・扉に必要なに応じてスロープ・カマチを設置します。（取付の詳細はP13～P14参照）



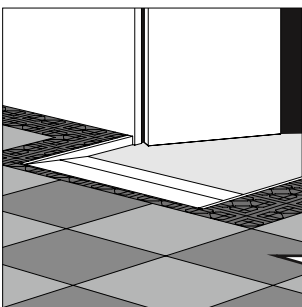
⑥敷設・配線処理

必要に応じて、配線は配線孔から上部に出して下さい。



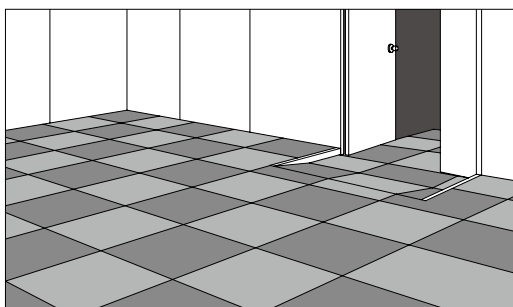
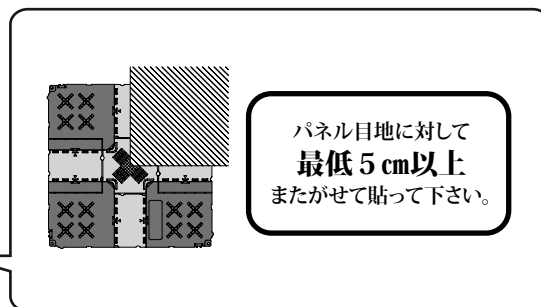
⑦接着剤の塗布

敷き込んだパネルにカーペット用の墨出しを行い、接着剤（タイルカーペット用ピールアップボンド）を塗布していきます。



⑧敷設（カーペット）

パネルに対してカーペットは、またがせ貼りをします。
 注）置き敷ビニルタイル仕上げについては別途お問い合わせ下さい。



⑨完成

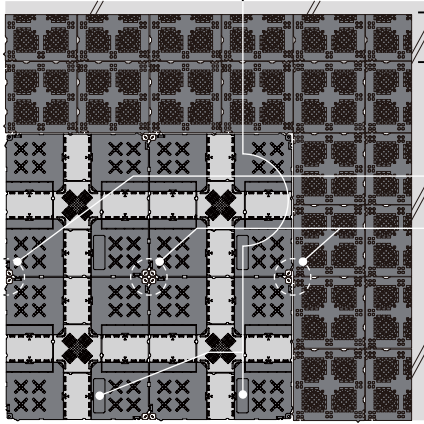
作業完了時には“ガタツキ”“目地合わせ”“段差”“汚等が無い”か確認して下さい。

次ページに続く

注意

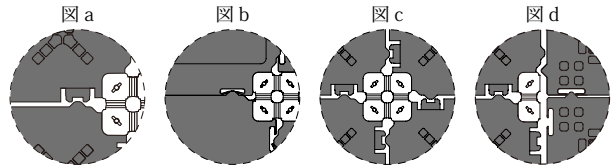
□ PIT40S / PIT50SIIについて

製品名を目安にパネル表面の向きを一定方向に施工して下さい。



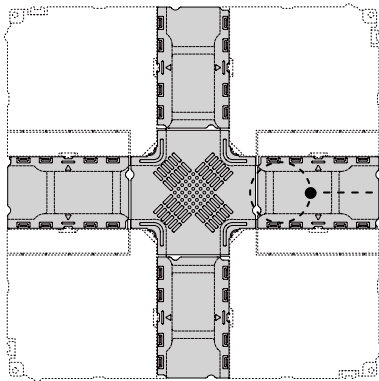
壁際で 500mm 以下となる箇所は左図のように H50SP をボーダー材としてご使用下さい。また PIT40S には、H40SP をボーダー材としてご使用下さい。
カット加工を施した物については必ず専用補助脚で補強して下さい。

- せり上がり防止のため、接続部が図 a・b のように変形しないよう注意して下さい。
- ジョイント (図 c・d) は、必ず使用して下さい。

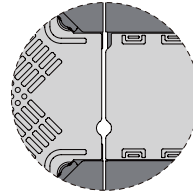


※ PIT50SIIの場合 ※ PIT40Sの場合

<配線孔について>



配線量が半円形状の配線孔では足りない場合は、ストレートフタ又はセンターフタの向きを変えて、配線孔の形状を丸形にして下さい。

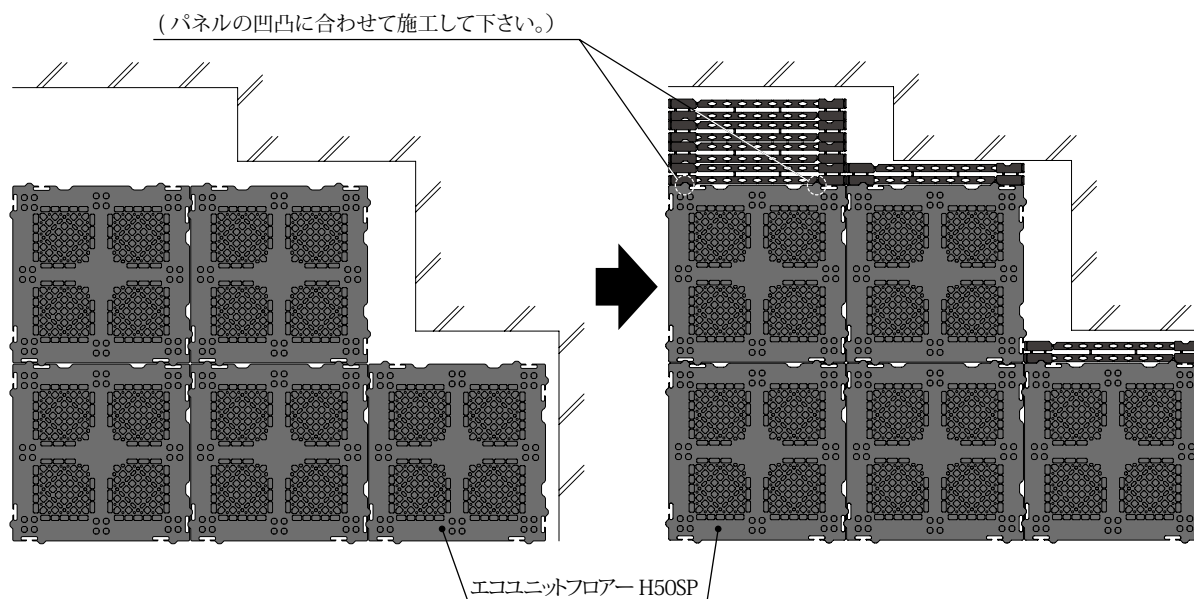


- ※ストレートフタの取付けは、△マークを合わせてはめ込んで下さい。
- ※パネル自体の向きを変えることによる調整はしないで下さい。
- ※必要のない配線孔は必ず半円形状にしておいて下さい。

■施工手順（エコユニットフローアールボーダー H50）

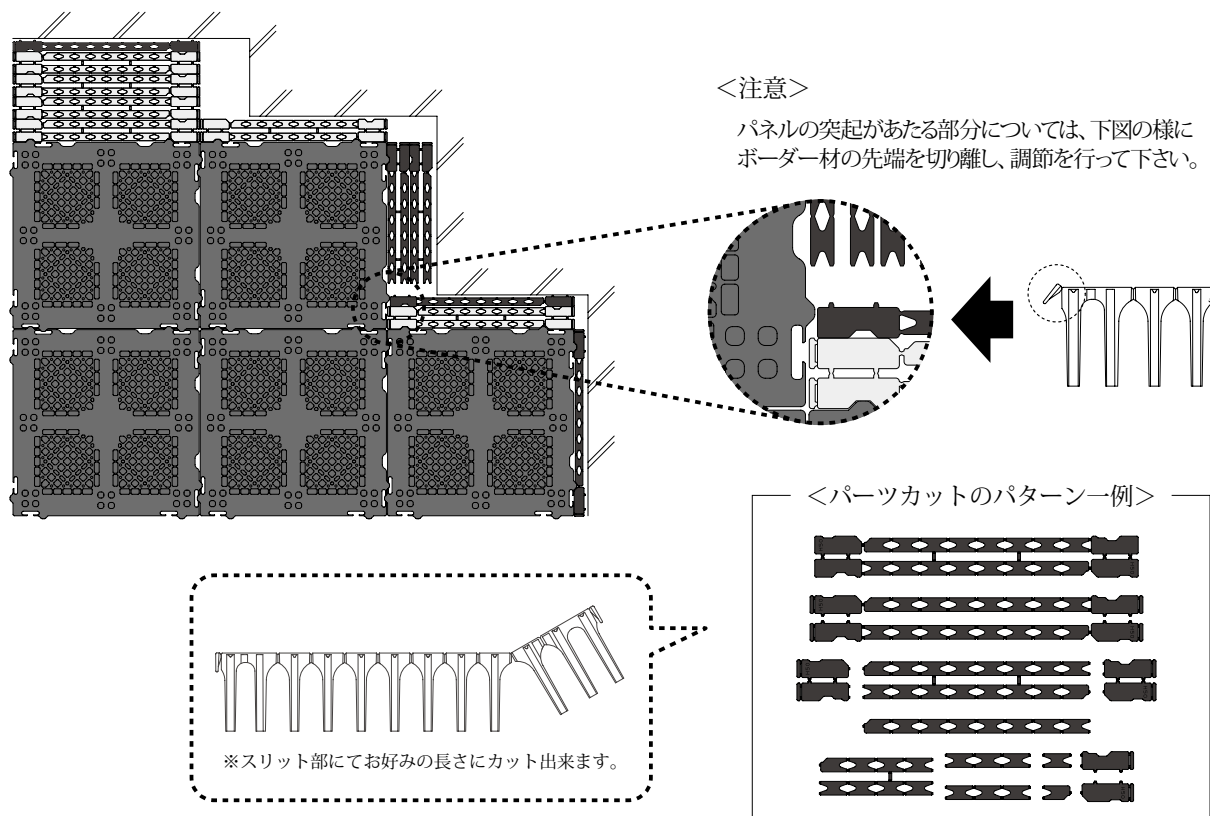
※ボーダー材を使用する際は、以下の方法を参考に施工して下さい。

①エコユニットボーダー H50 をカット加工が不要な場所から施工していきます。



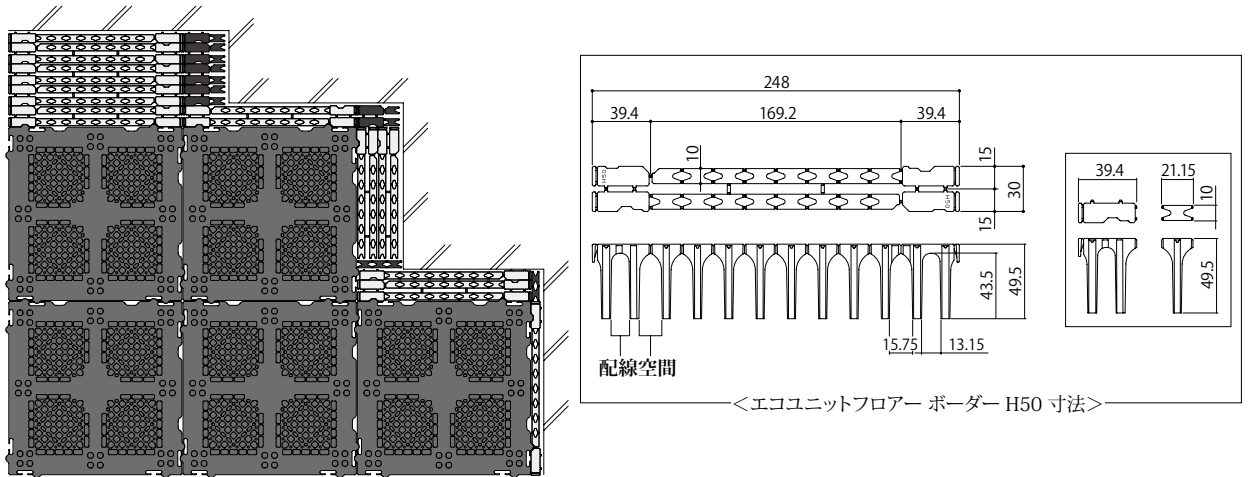
②次に、下図のようにカット加工を要した大きなパーツで埋められる隙間から優先的にボーダー材を施工していきます。

- ※幅 30mm 以下又は長さ 250mm 以下の箇所に対してはカット加工を行い施工していきます。
- ※エコユニットフローアール ボーダー H50 はカット加工により様々な寸法に調整が出来ますが、可能な限り大きな状態で施工してください。
- ※幅方向の切断を行うと自立しない場合があるので注意してください。
- ※ 10mm 以下の箇所に関しては必要に応じて緩衝材等を使用して下さい。



③残った隙間に合わせてボーダー材をカットし、隙間を埋めます。

※ 15mm以下となる箇所においては 13mm又は 10mm幅に切断して施工して下さい。
(施工の時、製品の転倒に注意して下さい。)



注意事項

- 床面 (ベースシート) に対し直立させて下さい。
- カーペット施工面が凹凸になるような施工はパネルのせり上がりの原因になります。必要以上に密着させないで下さい。
- 使用箇所は壁際・オプション品 (カマチ・スロープ) の周辺として下さい。
- 全ての連結部にて、手で簡単にカット加工ができますが、施工の際は最小限として下さい。
- カット寸法によっては自立しない場合があります。通行の多い箇所での施工には、ご注意願います。
- 重量物の設置箇所では使用しないで下さい。
- 配線を行う際は線を踏まないように注意して下さい。
- 幅方向の切断を行うと自立しない場合があるので注意して下さい。

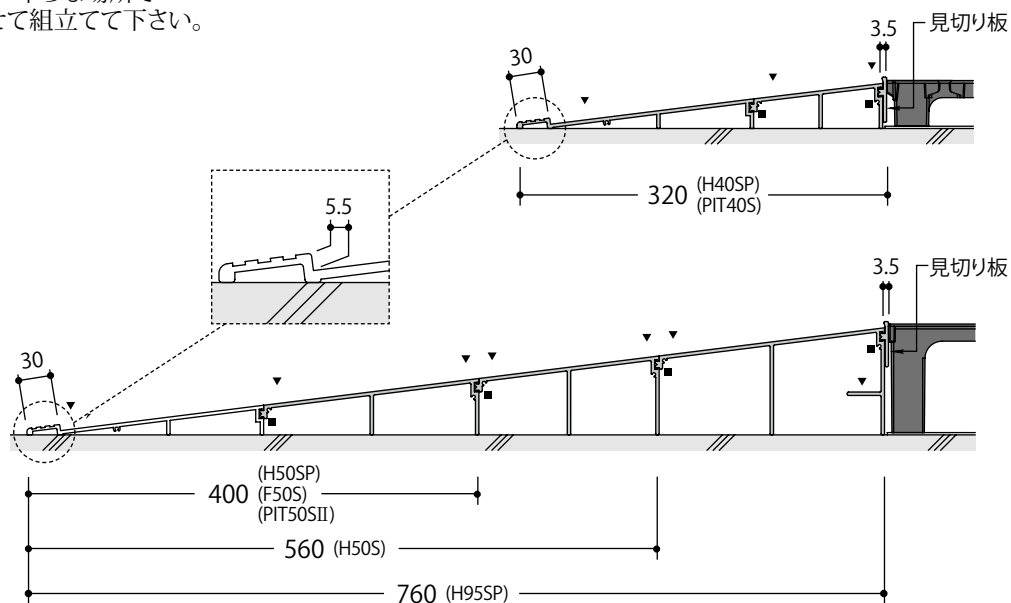
取付図

■アルミスロープ (組立式)

※図中の▼印はビス位置。

※図中の■印はスライド接合部。

※スロープは、平らな場所で
スライドさせて組立ててください。

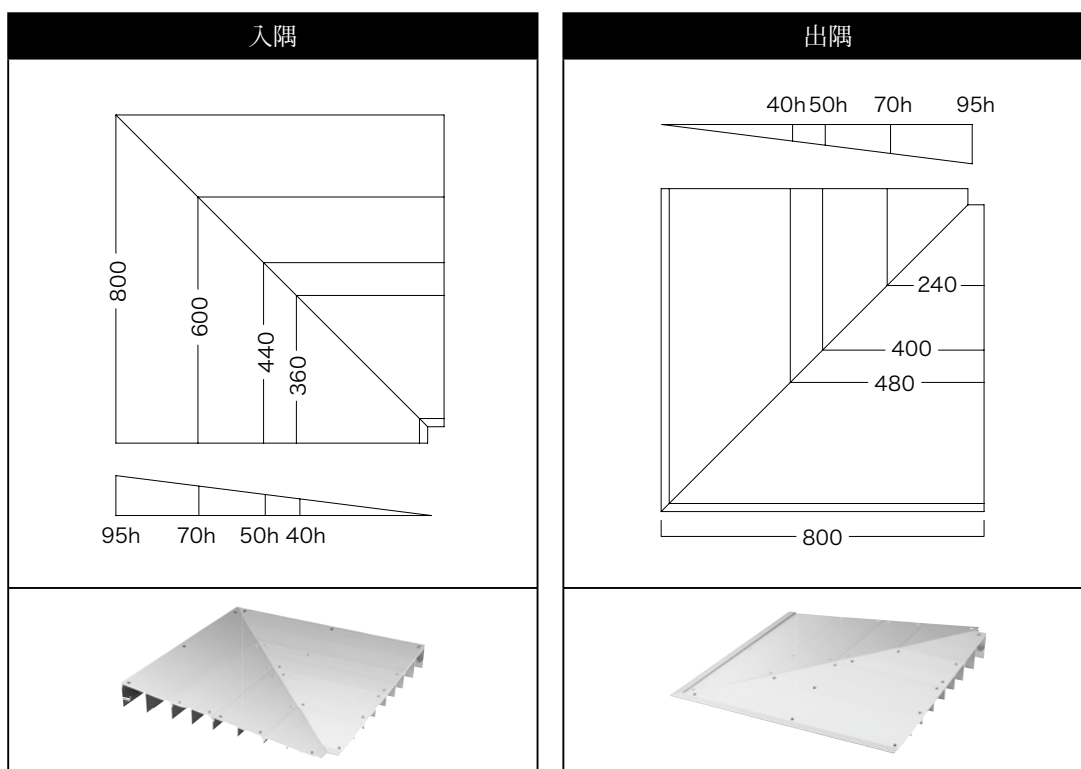


商品名	アルミスロープ 40H	アルミスロープ 50H	アルミスロープ 70H	アルミスロープ 95H
対応パネル	H40SP/PIT40S	H50SP/F50S/PIT50SII	H70S	H95SP
重量	約 4.3 kg/m	約 5.0 kg/m	約 7.6 kg/m	約 11.1 kg/m

※固定用ビス (M6) 同梱 ※振動ドリル用キリ 5.3 を使用する。

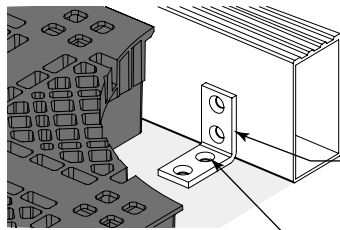
■入隅・出隅 (組立式)

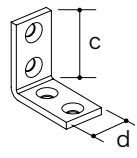
※必ずアルミスロープとセットでご使用下さい。



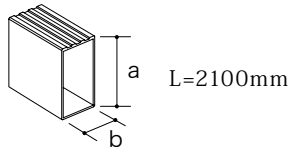
■アルミカマチ

※取り付け例 (一部断面表示)


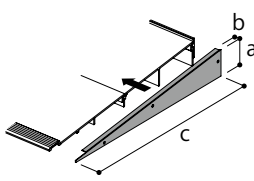
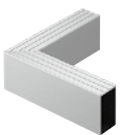
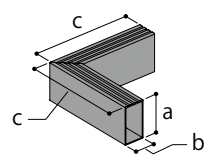

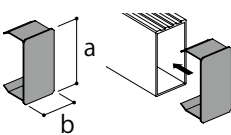

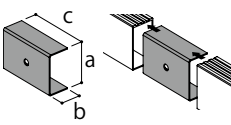


固定用部材 (5ヶ付属)		
※パネル脚部に干渉しないように注意して下さい。		
H40SP / PIT40S 用 H50SP 用 PIT50SII 用	c=30 d=30	
H70S 用 H95SP 用	c=60 d=60	

— コンクリートビスは別途ご用意ください。

商品名	アルミカマチ 40H	アルミカマチ 50H	アルミカマチ 70H	アルミカマチ 95H
対応パネル	H40SP/PIT40S	H50SP/F50S/PIT50SII	H70S	H95SP
重量	約 0.75 kg/m	約 0.83 kg/m	約 1.0 kg/m	約 1.2 kg/m
寸法 (a×b)	47 × 30	57 × 30	77 × 30	102 × 30
				

■パーツ (アルミスロープ / アルミカマチ)

商品名		寸法 (a × b × c) mm		
スロープ用小口隠し ※スロープへの取付はビス(四頭タッピング ビス 3.5mm) 止めとなります。 ※左右で1セットになります。			40H	46 × 10 × 323
			50H	56 × 10 × 403
			70H	76 × 10 × 563
			95H	101 × 10 × 763
コーナー材 ※コンクリートビスにてカマチ固定用部材 (5ヶ付属) と共に固定して下さい。 ※カマチ固定用部材は必ずパネルの脚部間 に取り付けて下さい。 ※コンクリートビスは別途ご用意下さい。			40H	47 × 30 × 150
			50H	57 × 30 × 150
			70H	77 × 30 × 150
			95H	102 × 30 × 150
カマチ用小口隠し			40H	47 × 30
			50H	57 × 30
			70H	77 × 30
			95H	102 × 30
ジョイント			40H	43 × 25 × 80
			50H	53 × 27 × 80
			70H	73 × 25 × 80
			95H	98 × 25 × 80

■補助脚

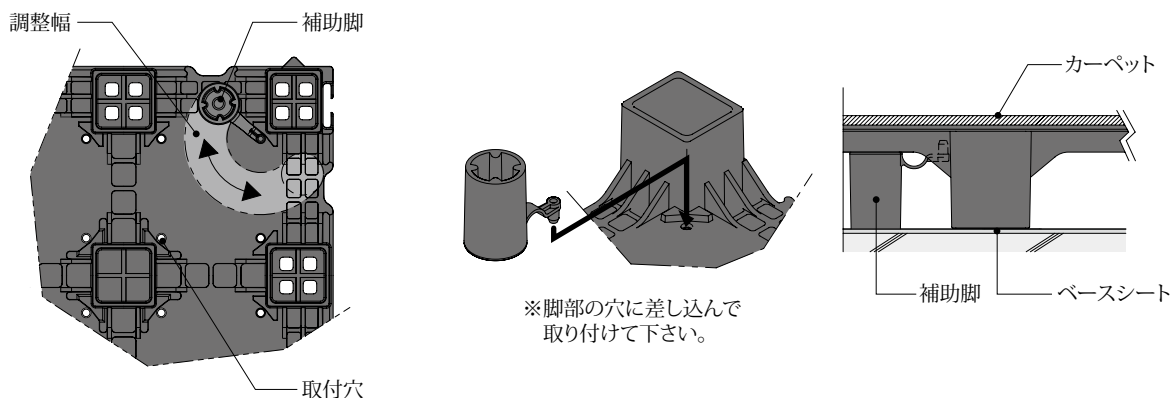
エコユニットフロアー（スタンダードタイプ）をボーダー材として使用する場合は必ず補助脚（2～3ヶ）を使用して下さい。

※補助脚は専用部材となりますので、必ずパネルの型式に合わせてご使用下さい。
※補助脚の取付け方法は2種類ありますので注意して下さい。

取付け方法に関して

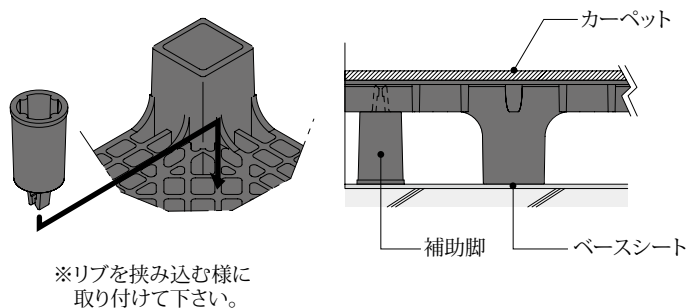
Aタイプ …… H40SP/H50SP/F50S 用

パネルの裏面の取り付け穴に差込み、必要な位置に回転調整させるタイプです。



Bタイプ …… H70S/H95SP 用

パネル裏面のリブを挟み込みタイプです。



対応電設機器一覧

電設機器は (株)TERADA の下記製品に対応しています。

	ブロックコンセント XYZ80002 (2分岐)	ハーネスジョイントボックス AHJ80002 (2分岐)	イーナコンセント EEM シリーズ	フロアコンセント SFC シリーズ	フロアコンセント SMS シリーズ	フロアコンセント SMR シリーズ	フロアコンセント SMA シリーズ
H40SP	○ ※1	○	×	×	○	○	○
H50SP	○	○	○	×	○	○	○
F50S	○	○	△ ※お問い合わせ下さい。	×	○	○	○
H70S	○	○	○	×	×	×	×
H95SP	○	○	○	×	×	×	×
PIT40S	×	○	×	○	×	×	×
PIT50SII	○	○	×	○	×	×	×

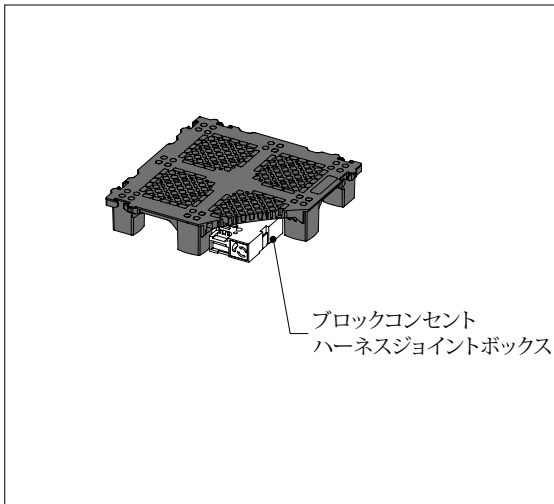
配線器具の施工には、電気工事士の資格が必要です。
施工時は必ず配線器具の施工手順・取扱説明書をご確認下さい。
(※1) 専用オプションを併用して下さい。

対応電設機器の詳細図

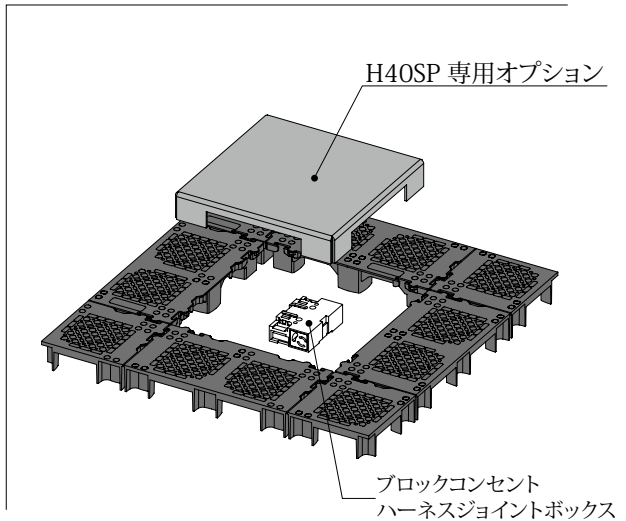
電設機器を設置する際は、以下の図のように電設機器を脚部間に干渉しない様に配置して下さい。

ブロックコンセント / ハーネスジョイントボックス

□対象パネル：H50SP / H70S / H95SP / F50S

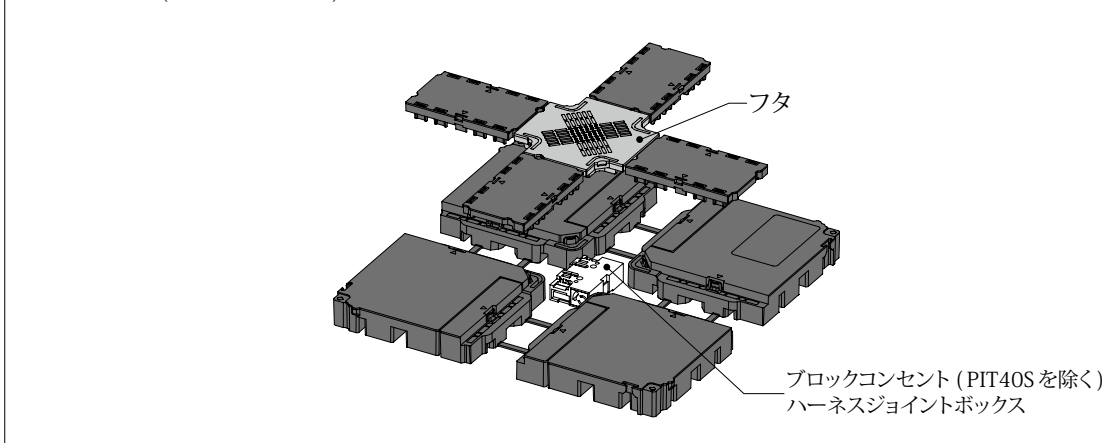


□対象パネル：H40SP



□対象パネル：PIT40S / PIT50SII

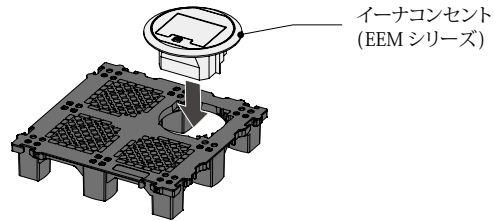
本体の溝中心部 (センターフタの下) に設置して下さい。



イーナコンセント

□対象パネル：H50SP / H70S / H95SP

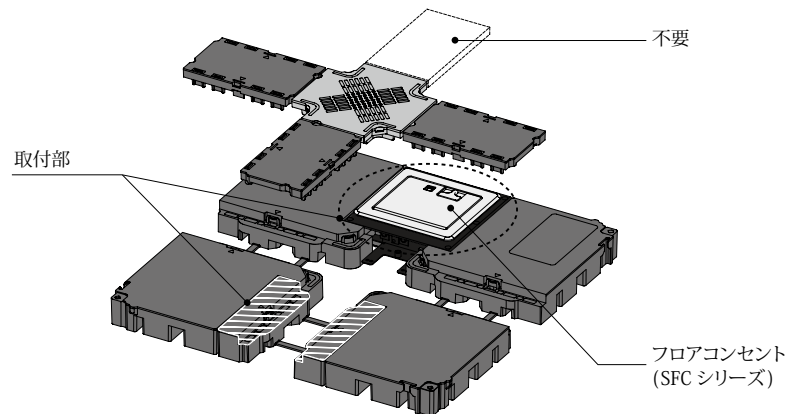
パネルの脚部間に $\phi 90\text{mm}$ の下孔加工後、設置して下さい。
※表面仕上げ材に $\phi 90\text{mm}$ の開口加工が必要となります。



フロアコンセント (SFC シリーズ)

□対象パネル：PIT40S / PIT50S II

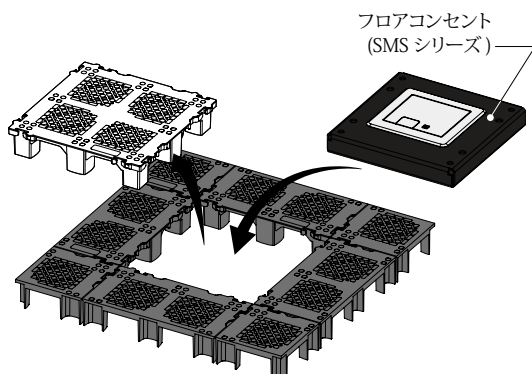
本体の取付部 (2箇所) のいずれかをカット加工し設置する。
※取付後はストレートフタが一枚不要となります。
※表面仕上げ材に $120 \times 136\text{mm}$ 程度の開口加工が必要となります。



フロアコンセント (SMS シリーズ)

□対象パネル：H40SP / H50SP / F50S

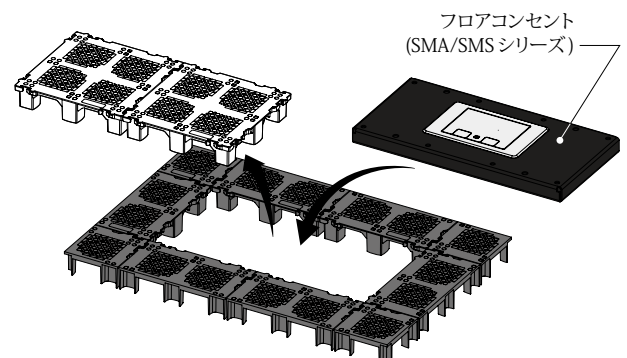
パネルを 1 枚取りはずした後に設置して下さい。
※表面仕上げ材に $120 \times 136\text{mm}$ 程度の開口加工が必要となります。



フロアコンセント (SMA / SMS シリーズ)

□対象パネル：H40SP / H50SP / F50S

パネルを 2 枚取りはずした後に設置して下さい。
※表面仕上げ材に下記の開口加工が必要となります。
SMA シリーズ： $110 \times 149\text{mm}$ / SMR シリーズ： $126 \times 187\text{mm}$

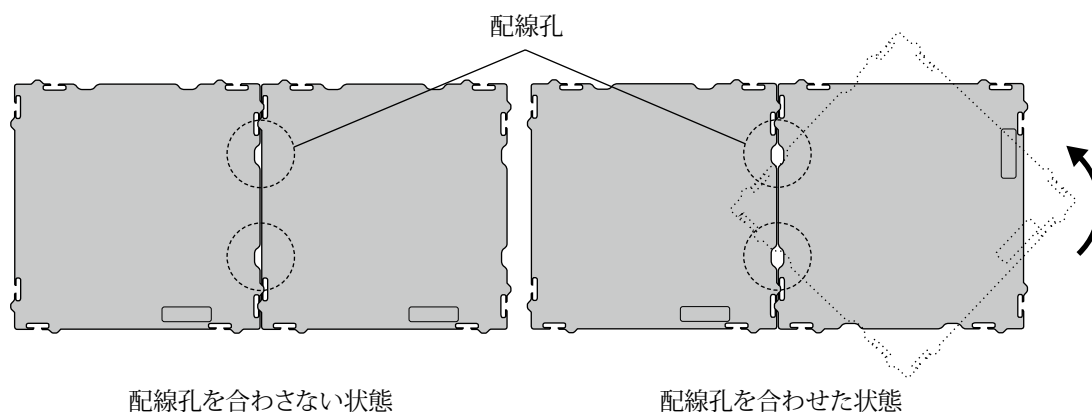


■施工時のご注意

- 本品は OA フロア専用の床材です。他の用途にはご使用にならないで下さい。
- 施工の際は本施工要領書を参考にご理解の上、順序に従って施工して下さい。
- 搬入時・施工時などパネルを取り扱う時は手袋を着用して下さい。
ケガをする原因になります。
- 搬入時・施工時などに本製品を落下させたり投げたりしないで下さい。
破損や強度低下の原因になります。
- 搬入時・施工時などに本製品上に重い物を落下させたり踏み台の上から
飛び降りたりしないで下さい。破損や強度低下の原因になります。
- 搬入時・施工時などに本製品の近くでの火気の取り扱いを避けて下さい。
火災の原因になります。
- 施工中及び施工後に重量物などの搬入の際は、搬入路に合板など（12 mm厚以上）
で十分に保護して下さい。破損やケガの原因になります。
- 配線器具の施工には、電気工事士の資格が必要です。
- 配線器具類は、パネルにしっかりと固定してください。
（ケーブルの抜け・損傷の原因となります。）
- タイルカーペットの敷設はまたがせ貼りをしてください。
（1：1 貼りの場合、段差やカーペットの目地が目立つことがあります。）
- 施工後、頻繁に台車が通る可能性がある場合は、事前にご相談下さい。

■ご使用時のご注意

- 施工後のパネルは、必要時以外は外さないで下さい。
- 施工後、配線の変更などでやむなくパネルをはずす場合は、その周りにカラーコーン等を
設置して下さい。つまづき・転倒事故の原因になります。
- 施工後、パネルをはずして元に戻す際は、ケーブルの上にパネルの脚が乗らないように注意して下さい。
断線の原因になります。
- 施工後、歩行時に異常を感じた場合は、早めに担当の施工業者様あるいは当社にお問い合わせ下さい。
- カマチ、スロープの設置場所では段差に脚を引っ掛けないようにご注意ください。ケガの原因になります。
- 施工後、耐荷重性能を超える用途で使用しないで下さい。
- 施工後、金庫・書庫などの重量物を設置する場合は、事前にご相談下さい。
また重量物の配置替えを行う場合は、補強工事等が必要な場合がありますので事前にご相談下さい。
- パネル表面に配線を出す場合は、下記破線内のように配線孔同士を合わせて施工し、
それ以外の箇所では合わせないように施工して下さい。※ H95SP を除く



株式会社キタイコーポレーション



本 社	〒538-0041	大阪府大阪市鶴見区今津北4丁目10番1号 TEL(06)6965-1041 FAX(06)6968-2906
東京営業所	〒130-0005	東京都墨田区東駒形2丁目13番10号 ルミエール逆井101号 TEL(03)5608-5471 FAX(03)5608-5473
広島営業所	〒733-0011	広島県広島市西区横川町1丁目10番7号上田ビル1F TEL(082)208-4575 FAX(082)208-4576
福岡営業所	〒814-0133	福岡県福岡市城南区七隈8丁目6-32-5イデアル七隈 TEL(092)400-2392 FAX(092)407-1596

- 事前の予告なしに仕様・外観の変更を行うことがあります。
- 印刷の特性上、カタログ記載の写真と現品とでは多少異なることがあります。
- 本カタログの無断複写はしないで下さい。